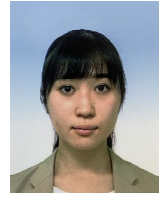


研究タイトル：

## 接触場面の雑談における聞き手行動の分析



氏名： 犬飼亜有美 / INUKAI Ayumi E-mail: a-inukai@sensai-nct.ac.jp

職名： 特命助教 学位： 修士(文学)

所属学会・協会： 日本語教育学会, 社会言語科学会, 日本語教育方法研究会

研究分野： 文学, 言語学, 教育学

キーワード： 談話分析, 会話教育, 雑談, 聞き手行動, あいづち

 技術相談  
 提供可能技術：
 

- ・日本語を母語としない人との日本語によるコミュニケーションの支援及び分析
- ・中等教育段階の日本語学習者に対する教科学習支援

### 研究内容：

#### ①日本語の雑談における聞き手行動の指導に向けた接触場面会話の談話分析

##### 【背景】

雑談は、相手のことを知り人間関係を構築・維持するために重要な役割を果たすものであり、留学生をはじめとする日本語学習者にとってもできるようなるべき談話項目の一つであると言える。

##### 【課題】

しかし、雑談は「依頼」や「勧誘」、「謝罪」といった談話と異なり、特に決まった流れや文型が存在せず、故に体系的な指導方法も確立されていないのが現状である。

日本語学習者の中には、日本語を用いて日常生活を送ることは問題なくできても、雑談に対して苦手意識を持っているという人も少なくない。特に、相手からの情報提供や経験談に対してうまく反応できないことがあり、その結果として会話の進行が滞ったり、話し手が自分の話が伝わらなかったのかと不安に感じたりすることが報告されている。

##### 【目的・方法】

そこで、「相手の話を聞いているときに聞き手としてどのようなリアクションを取るか」という点に着目し、実際の雑談場面のデータを収集して日本語母語話者と日本語学習者の言語行動の比較分析を行うことで、学習者にとって習得が難しい聞き手行動を抽出・整理し、雑談の効果的な指導方法を確立することを目指している。

- 才田いずみ・稲飯亜有美(2019)「雑談のポイントとしての「リアクション」」『日本語教育方法研究会誌』25(2), pp.76-77.
- 稲飯亜有美・才田いずみ(2019)「雑談における聞き手行動指導の可能性」『言語科学論集』23, pp. 77-88.
- 稲飯亜有美(2021)「話し手の発話内容を共有したことを示す聞き手行動の分析—雑談データを対象に—」『2021年度日本語教育学会秋季大会予稿集』, pp. 195-200.
- 犬飼亜有美(2022)「日本語の雑談における母語話者と学習者の聞き手行動の違い」『言語科学論集』26, pp. 67-78.

#### ②留学生に対する工学系学習日本語の自律学習支援

日本語初級段階で来日した留学生が日本語で教科学習を行う際には、日本語の理解と学習内容の理解という二つの側面で困難に直面する。将来的には、留学生が自力でもしくは周りの助けを借りて問題を解決し、自律的に学習できるようになることが望まれる。そこで、日本語の授業において、留学生の日本語の習得段階にあわせ、教科学習で用いられる学習日本語の指導、及び留学生自身が学習内容をどのように理解しているのかを自分の言葉で説明する活動を行い、当該活動の学習内容理解における効果測定を行っている。

### 提供可能な設備・機器：

#### 名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	